



いたびつ  
**板櫃** <校訓>  
真理の探究  
自主躍進

令和6年1月15日(月)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市小倉北区白萩町8番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>  
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～  
<目指す生徒像>  
① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)  
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)  
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)  
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

## 入試の仕組みを知ろう！(高校・高等専門学校・各種学校)

3学期が始まりました。3年生は進路決定に向けてラストスパートです。1・2年生は先の話のようですが、入試はあっという間にやってきます。中学校卒業後は、自分自身の手で、未来を切り開いていかなければいけません。ここでは、入試などの仕組みについて一般的な内容を掲載します(すべての手続きが下記のようなものとは限りません。高校によって異なりますので、その時期が来たら先生からしっかり聞いてください)。【この内容は、本年度3年生の入試を参考にしています】

### ① 私立高校

<推薦入試>	<一般入試>
① 推薦願い書(本人・保護者)を担任に提出 ② 校内推薦委員会で決定 ③ 願書提出(私立高校の推薦は1校のみ) *面接・作文練習などがあります。 ④ 推薦入試(1月中～下旬) →合格:すぐに手続きが必要です。必ずその私立高校に進学します。 →不合格:再受験する場合、受験料は不要な学校もあります。私立・公立高校の一般入試を受験(受験)できます。 ○ 1月中に進路先が決定します。 ○ 高校ごとに推薦の基準があります。 ○ 2ヶ月の中学校生活を残しており、学習面の努力も必要です。	① 願書提出 ② 一般入試(北九州地区は3日間実施) →合格:合格した高校の中から、入学金の一部を払うことで、入学予約ができます。公立高校を受験できます。公立高校を受験せず、合格した私立高校に入学もできます。 →不合格:合格した高校に入学金の一部を払います。公立高校を受験できます。 ○ 特待生制度等があり、成績が良ければ授業料、入学金が免除されることがあります。 ○ 公立高校・国立高専入試へ向けて、自分の実力の判断となります。 ○ 公立高校の受験に関して、制約はありません。 ○ 例年北九州市内の私立高校は日程的に3校まで受験できます。 ○ 入学金、または入学予約金が必要です。この金額については、各高校で異なります。その私立高校に進学しなくても、予約金は戻ってきません。

### ② 公立高校

<推薦入試>	<特色化選抜入試>	<一般入試>
① 推薦願い書(本人・保護者)を担任に提出 ② 校内推薦委員会で決定 ③ 志願理由書、願書提出(公立高校の推薦は1校のみ) ④ 推薦入試(2月上旬) →合格内定:必ずその公立高校に進学します。入学辞退はできません。 →不合格:公立高校一般入試を受験できます。受験せず、私立高校へ進む人もいます。	① 各高校の基準に合致した場合、担任に申し出る ② 志願理由書、願書提出(公立高校の特色化選抜は1校のみ) ③ 特色化選抜入試(1月下旬) →合格内定:必ずその公立高校に進学します。入学辞退はできません。 →不合格:公立高校一般入試を受験できます。受験せず、私	① 願書提出(私立高校推薦入試合格者、特色化選抜内定者、高専推薦入試内定者は提出できません。) ② 入試(3月中旬) *全日制・定時制とも同日入試 →合格:原則合格した公立高校に進学します。 →不合格:入学予約した私立高校に進学します。補充募集は、定員割れした高校が行いますが、市内はほとんどありませ

○ 2月に進路先が内定します。 ○ それぞれの高校で推薦の基準があります。 ○ 合格は内定であり、決定ではありません。1ヶ月の中学校生活を残しており、学習面の努力も必要です。 ○ 入試は主に、作文、面接、実技です。	立高校へ進む人もいます。 ○ 1月に進路先が内定します。 ○ それぞれの高校で選抜の基準があります。 ○ 合格は内定であり、決定ではありません。2ヶ月の中学校生活を残しており、学習面の努力も必要です。 ○ 入試は主に、面接です。	ん。定員割れがなければ、定時制でも補充募集はありません。 ○ 受検は1校のみです。 ○ 個性重視の特別試験(面接、実技等)が実施される高校があります。 ○ 第2志望校制が導入されました。第2志望校については、学区制はありません(第2志望が出願できる高校は県内どこでも記入できます。ただし、第2希望校に合格した場合、辞退できません)。
--	--	---

### ③ 高等専門学校(高専)

<推薦入試>	<一般入試>
① 推薦願い書(本人・保護者)を担任に提出 ② 校内推薦委員会で決定 ③ 願書提出(高専の推薦は1校のみ) *面接・作文練習などがあります。 ④ 推薦入試(1月下旬) →合格内定:必ずその高専に進学します。入学辞退はできません。入学確約書を提出します。 →不合格:高専・公立高校の一般入試を受検します。高専や公立高校を受検せず、私立高校へ進学する人もいます。 ○ 1月中に進路先が決定します。 ○ 推薦の基準があります。 ○ 合格は内定であり、決定ではありません。2ヶ月の中学校生活を残しており、学習面の努力も必要です。	① 願書提出(私立高校推薦合格者、公立特色化選抜内定者は提出できません。) ② 入試(例年、2月の第3日曜日に実施されることが多いようです) →合格:合格した場合、入学希望者の登校は公立高校の入試日と同日ですので、公立高校の受験はできません。 →不合格:公立高校の一般入試を受検できます。公立高校を受検せず、私立高校へ進む人もいます。 ○ 公立高校推薦入試に合格が内定した場合は、高専の受験手続きをしても受検できません。

### ④ 職業訓練校・専修学校・高等技術専門学校

<入試>
① 進学の希望を担任に連絡してください ② 願書提出*面接練習などがあります。 ③ 入試 →合格:通常4月1日付での入学となります。事前に学校説明のため登校することもあります。 →不合格:他の職業訓練校・専修学校や高校を受験できます。 ○ 専修学校卒業後、専門学校でさらに上級の資格を取ることができます。 ○ 私立高校・公立高校も受験できます。 ○ 学校によっては高校卒業と同じ資格を得ることができます。(高校卒業ではありません) ○ 北九州市立戸畑高等専修学校については、令和5年度で閉校になります。

### ⑤ 就職

<手続きなど>
① 就職の希望を担任に連絡してください。 ② ハローワーク<公共職業安定所(職安)>等に連絡 ③ 願書または履歴書などを提出 *面接練習などがあります。 ④ 適性検査・面接など →就職内定:4月1日付での入社となります。事前に会社説明のため入社します。 →不採用:次の就職先を探します。(補充募集をしている高校や職業訓練校、専門学校があれば受験して進学することができます)

\*本内容は一般的な入試や手続きの内容です。3年生は受験先高校の募集要項に従いましょう。

